

新型コロナワクチン接種に関するお知らせ

※8月16日現在の情報です。今後、国の動向等により変更になる可能性があります。

7月20日から始まった64歳以下の方の予約状況は、市が当初想定していたよりも予約者が少なく、全年齢区分の予約を前倒しで開始しており、以前から開始されている高齢者(65歳以上)・基礎疾患を有する人・高齢者施設等の従事者を含め、現在は12歳以上の全ての方が予約可能です。

なお現在のところ、市では十分なワクチン量と接種体制を整えています。国からは12歳以上人口の8割が2回接種できる必要量が配分される計画が示されており、残りの分は9月から10月初旬に配分される予定です。

ワクチンには使用期限があるため無駄にならないよう、また感染拡大防止のため、接種を希望する人は早めの予約をお願いします。

年齢区分	年齢(65歳以上を含みます)	予約開始日
1	64～60歳 (S32.4.2～S37.4.1生まれ) 15～12歳 (H18.4.2～H21.8.31生まれ)	7/20(火)
2	59～56歳 (S37.4.2～S41.4.1生まれ) 18～16歳 (H15.4.2～H18.4.1生まれ)	8/3(火) → 7/28(水)
3	55～50歳 (S41.4.2～S47.4.1生まれ)	8/17(火) → 8/5(木)
4	49～44歳 (S47.4.2～S53.4.1生まれ)	8/31(火) → 8/5(木)
5	43～37歳 (S53.4.2～S60.4.1生まれ)	9/14(火) → 8/11(水)
6	36～29歳 (S60.4.2～H5.4.1生まれ)	9/28(火) → 8/11(水)
7	28～19歳 (H5.4.2～H15.4.1生まれ)	10/12(火) → 8/11(水)



※大規模接種用の接種券をお持ちの方で、交野市での接種を希望する人は、切り替えの申請が必要です(申請後、発送まで1～2週間必要)。ただし、大規模接種会場で1回目の接種を受けた場合は、交野市での接種への切り替えはできません。

※令和3年9月1日以降に12歳の誕生日を迎える人は、誕生月の前月に接種券を発送します。

コールセンター限定日を廃止します

電話での予約を希望する人がスムーズに予約できるよう、コールセンター限定日を設けていましたが、現在は十分な予約枠により予約の集中がなく、コールセンターでも問題なく予約できているため、9月以降のコールセンター限定日を廃止します。限定日廃止後も、コールセンターおよび予約サイト双方で予約を受け付けています。

なお、予約サイトからの予約が難しい場合は、ゆうゆうセンター1階 予約サイトサポートコーナーをご利用ください。

[9/27(月)まで] 火・木曜日9:00～12:00 **[9/28(火)～10/19(火)]** 火曜日9:00～12:00

暴風警報発令時等は、ワクチン接種を中止する場合があります

市民のみなさんの安全のため、台風等で暴風警報が発令された場合や、震度5弱以上の地震が発生した場合は、新型コロナワクチン接種を中止する場合があります。中止に関する情報は、集団接種の場合は市ホームページやコールセンターでご確認ください。個別接種の場合は接種を受ける医療機関へお問い合わせください。

接種が中止になった場合は、再予約が必要ですが、翌日以降に予約枠の拡大を予定しています。

なお、接種を実施している場合でも、高齢者等避難や避難指示等の避難情報が発令されている地域にお住まいの方は、安全対策を優先の上、無理をせずご判断ください。

交野市でのワクチン接種に関する情報やお問い合わせ	
交野市ホームページ <input type="text" value="交野市 コロナワクチン"/> <input type="button" value="検索"/>	 交野市新型コロナワクチンコールセンター ☎0120-052-517 (日・祝を除く9:00～18:00) ✉yoyaku@katanocity.jp
聴覚障がい者専用相談窓口(FAX) ☎050-3457-4766	交野市新型コロナワクチン接種対策室 ☎893-2111

ワクチンの副反応を正しく知りましょう

現在、インターネットやSNS等に新型コロナワクチンの副反応に関する情報が掲載されていることが多く、また、すでに接種した人の副反応に関する体験談や噂話などを耳にする機会も多いと思います。

ただし、それらの情報の中には、科学的根拠に基づかない不正確な情報や、接種後に起きた体調不良等の因果関係が分からないにも関わらず、ワクチンが原因であるように記載している情報等も多くありますので、市や厚生労働省等、公的機関が発信する情報を元に、正しい情報を得るようにしましょう。

主な副反応

主な副反応に、注射した部分の痛み、頭痛、関節や筋肉の痛み、倦怠感、寒気(さむけ)、発熱などがあります。

接種日当日～2日後に発生することが多く、特に接種日翌日の発生率が高い傾向にあります。「接種後は、何らかの副反応が出る可能性が高い」という心づもりと備えをお願いします。

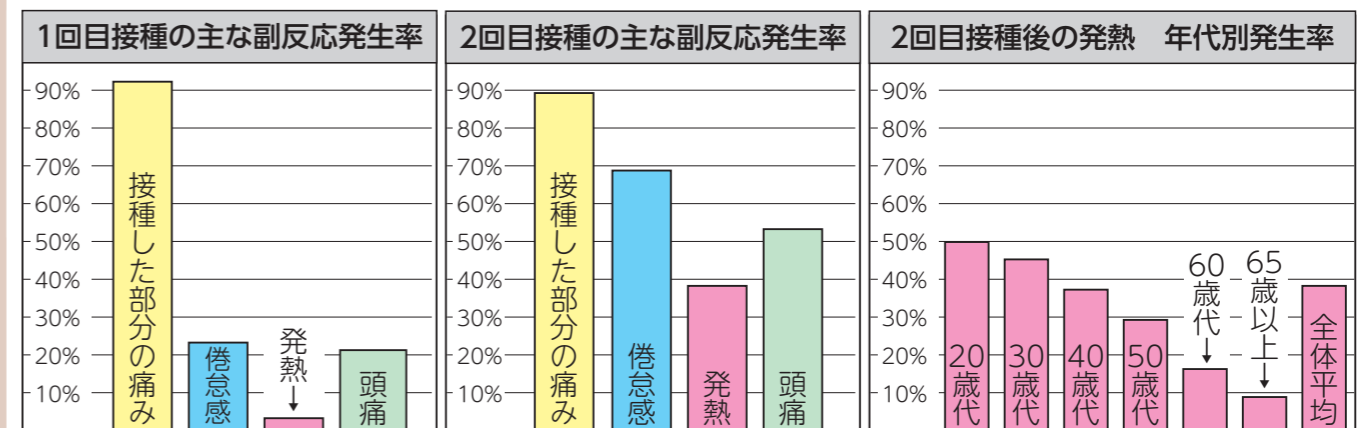
なお、副反応はほとんどの人が数日中に回復しています。

1回目接種より2回目接種の方が副反応が起こりやすくなります

1回目のワクチン接種でいくらか免疫がつくことで、2回目接種の方が、免疫反応が起こりやすくなるため、発熱や倦怠感、関節痛などの症状が出やすくなります。

副反応の発生率

副反応の発生率は、1回目接種より2回目接種の方が高く、高齢者より若い人の方が高い傾向にあります。接種回数ごとの主な副反応の発生率と、発生率の差が比較的大きい発熱に関する年代別発生率は、下のグラフのとおりです。(グラフは厚生労働省健康状態調査を元に作成)



妊娠中・授乳中・妊娠計画中の人のワクチン接種

妊娠中・授乳中・妊娠を計画中的の方も、ワクチンを接種することができます。ワクチンが妊娠、胎児、母乳、生殖器に悪影響を及ぼすという報告はありません。

ワクチン接種で不妊になるの？

ワクチンが原因で不妊になるという科学的な根拠はありません。

ワクチン接種により流産率は上がっておらず、妊娠しにくくなるという根拠も確認されていません。

※上記の情報は、「厚生労働省新型コロナワクチンQ&A」の記載事項を元に、市の接種で使用するファイザー社製ワクチンについての情報を記載しています。その他の情報や、大規模接種で使用される武田/モデルナ社製ワクチンについて知りたい場合は同ページでご確認ください。